



沖縄県病床情報共有システム（OHBIS）※ 仮称

の運用について

令和6年6月17日

沖縄県保健医療介護部 医療政策課

病床情報共有の仕組みづくりについて

経緯

- ◎ OCAS(Okinawa Covid-19 Outbreak Assessment System)は新型コロナウイルス感染症患者の入院状況を可視化し、効果的な入退院調整につなげることを目的として、2020年4月から稼働していたシステム。
- ◎Googleスプレッドシートを活用し、インターネット環境下で入力・閲覧が可能であり、汎用性が高く継続を要望する意見も多かったことから、同システム終了後のあり方について検討を行っている。

目的

- ◎ 病床情報を可視化し各関係者で共有すること
 - 急性期病院と回復期～慢性期病院の相互の情報共（前方・後方支援）
 - 在宅・訪問看護：重症化したときの受入先情報（地域連携）
 - 県：県内医療機関の病床の逼迫状況把握

検討事項

- ◎ 運用が継続できるものであること⇒Googleスプレッドシートの活用と最小限の項目
- ◎ 効果的なものとする⇒最終的には本島内全域にて運用し全医療機関・消防にて閲覧可とする

テスト運用

- ◎ 中部圏域のいくつかの医療機関において毎朝FAXによる空床情報の共有を行っていることから、Googleスプレッドシートによるテスト運用を行っていただいている。

沖縄県病床情報共有システム（OHBIS）イメージ

※仮称

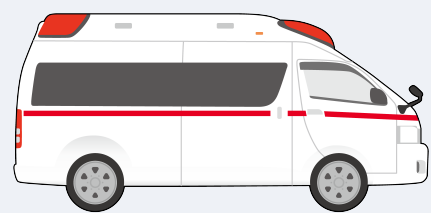
沖縄県病床情報共有システム OHBIS (Okinawa HospitalBeds InformationSharing System)

ICU (2:1全般)	HCU (4:1全般)	一般	地ケア	回ハ	療養	精神 (認知)
救急病院シート						
		急性期病院シート				
		回復期・慢性期病院シート				
						認知症シート

【追加情報】
● 救急受入件数（前日）

救急車受入情報システム
(又はOASIS)

消防参照



- Googleスプレッドシートの活用
 - インターネット環境下であればどこでも入力・閲覧可能。
 - メールアドレスの登録による管理
- 病院機能、病床種別のシート
 - 必要なベッドの受入情報を確認

✚ 専科シート
(小児・周産期等)
※今後検討

※全病床シート
圏域別×病院郡別シート

※ベッドの受入可能状況を
(診療所・訪問看護も含め)
全医療機関で共有する仕組み

- 救急告知病院群
- 急性期病院群
- 回復期・慢性期病院群
- 精神病院群



退院調整ツール

- ・南部：LINE
- ・那覇：Team



※個別事案の退院調整を
スムーズに行うための
コミュニケーションツール

運用ルールと今後のスケジュール

ルール

- 毎朝10時までに更新
- 病床情報は受入可能件数（≠空床数）
- 病床の種類は以下の7種類

- ▶ ICU：2対1看護全て
- ▶ HCU：4対1看護全て
- ▶ 地ケア：地域包括ケア病棟
地域包括ケア医療病棟
- ▶ リハ：回復期リハビリテーション病棟
- ▶ 一般：一般病床のうち、地ケア・回リハ以外
- ▶ 療養：療養病床
- ▶ 認知：精神病床のうち、認知症病棟

スケジュール

- 5月27日
中部圏域11病院にてテスト運用開始
- 6月7日
テスト運用に係る意見交換会
- 6月
13日：中部地区医療提供体制協議会
17日：南部地区医療提供体制協議会
※当会議を経て
中部圏域においては本格運用、
南部圏域においてはテスト運用
を進めていきたい。